

事例35

< 事例概要 >

空気塞栓

- ① 70 歳代、胃癌術後、多発肝転移、骨転移、左気胸、間質性肺炎の患者。
- ② 栄養管理、末梢血管確保困難のため、中心静脈ポートを造設予定。
- ③ BMI 16.1 kg/m²。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 左鎖骨下よりリアルタイム超音波ガイド下で穿刺。転移に伴う腰痛を軽減するため右側臥位で開始したが、穿刺困難から仰臥位で実施。血管が蛇行し、ガイドワイヤーがスムーズに挿入できなかった。ガイドワイヤーを残した状態でシース内筒を抜去し、ガイドワイヤーに沿ってカテーテルを挿入。ポートの位置決め直後、意識レベル低下、心電図上ST上昇、徐脈を認めた。心臓超音波で右房内にバブル状の陰影を認め、空気塞栓による心筋梗塞が疑われた。穿刺から約2 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、空気塞栓症による脳塞栓、心筋梗塞。死亡時画像診断（Ai）有（心腔内に大量の空気、脳血管、肝血管内、右冠状動脈近傍にも空気）、解剖有（心房中隔欠損有り）。